

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成23年9月29日(2011.9.29)

【公開番号】特開2010-175878(P2010-175878A)

【公開日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【年通号数】公開・登録公報2010-032

【出願番号】特願2009-19085(P2009-19085)

【国際特許分類】

G 03 F	7/027	(2006.01)
G 03 F	7/004	(2006.01)
G 03 F	7/031	(2006.01)
G 02 B	5/20	(2006.01)
G 02 B	5/22	(2006.01)
C 09 B	67/22	(2006.01)
C 09 B	47/04	(2006.01)

【F I】

G 03 F	7/027	5 0 2
G 03 F	7/004	5 0 5
G 03 F	7/031	
G 02 B	5/20	1 0 1
G 02 B	5/22	
C 09 B	67/22	A
C 09 B	67/22	Z
C 09 B	47/04	

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月15日(2011.8.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0074

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0074】

本発明における特定重合性化合物の具体例を下記に挙げるが、これに限定されるものではない。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0078

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0079

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0174

【補正方法】変更

【補正の内容】

〔 0 1 7 4 〕

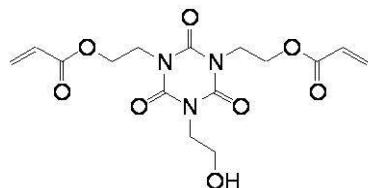
組成 1において、顔料分散液、重合性化合物を表 1 のように変更し、それ以外は比較例 1 と同様にして、実施例 1～6、および比較例 2～6 のそれぞれの着色感光性組成物を調整した。

なお、表1で顔料分散液の欄の印は、用いた顔料分散液を示す。また、重合性化合物については、その添加量は「質量部」で表1に示し、用いた特定重合性化合物の二重結合密度は「m eq / g」の単位で表1中に併記した。重合性化合物のD P H Aは比較例1の組成1で示した日本化薬社製商品名：K A Y A R A D D P H Aであり、本発明の特定重合性化合物に含まれない他の重合性化合物である。

また、比較例 2～4 で用いた重合性化合物は、下記に示す化合物 A-12～A-13、および化合物 A-14（混合物）である。なお、化合物 A-14 の混合比は質量比であり、A-14 の二重結合密度は、ヒドロキシ基を有する化合物 A-14-b の二重結合密度を記載したものである。

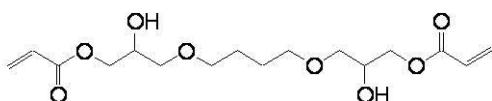
【化 1 6】

化合物A-12



Mol. Wt. : 369, 33

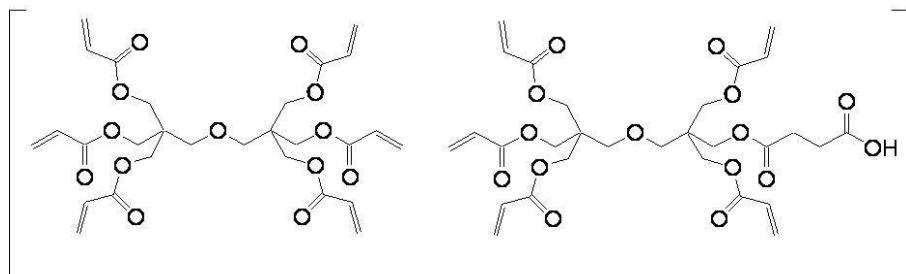
化合物A-13



Mol. Wt. : 346, 37

【化 1 7】

化合物A-14



A-14-a

A-14-b

Mol. Wt. : 578.55

(7:3)

Mol. Wt. : 624.58

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 1 7 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 7 5 】

【表1】

	顔料分散液				重合性化合物			DPHA	
					特定重合性化合物または比較化合物		種類	量	
	PG58	PG36	PY150	PY138					
実施例 1	○		○		A-1	3.58	10.1		
実施例 2	○		○		A-1	2.65	10.1	0.93	
実施例 3	○		○		A-4	3.58	10.6		
実施例 4	○		○		A-5	3.58	10.5		
実施例 5	○		○		A-9	3.58	10.7		
実施例 6	○			○	A-1	3.58	10.1		
比較例 1	○		○					3.58	
比較例 2	○		○		A-12	3.58	5.54		
比較例 3	○		○		A-13	3.58	5.78		
比較例 4	○		○		A-14	3.58	8.01		
比較例 5		○	○		A-1	3.58	10.1		
比較例 6		○	○					3.58	